

各種トラック

トラックとリージョン

DAWでは、音楽を構成する各要素を「トラック」と「リージョン」という概念で取り扱っていきます。

● トラック

楽曲を構成する様々な要素を分割して取り扱う仕切りのようなもの。扱うデータによってトラックの種類は異なりますが原則として1パートにつき最低1トラックが必要になります。

● リージョン

トラック内に配置されたサウンドデータのうち小さなひと塊りのこと。トラックの中には1～複数個のリージョンが配置されておりリージョンごとにデータを移動させたり編集することができます。DAWによっては「クリップ」と呼ぶこともあります。

トラック

The screenshot displays a DAW interface with a top transport bar showing a tempo of 171.2 BPM and a time signature of 4/4. The main workspace is a piano roll with a red box highlighting a track labeled 'A_SAX_1'. The track list on the left includes various instruments and effects, such as 'Tb_Bass_cm', 'A_SAX_1', 'A_SAX_2', 'T_SAX_1_cm', 'T_SAX_2_cm', 'B_SAX_cm', 'Sax_Bus', 'Brass_Room', 'Brass_Bus2', 'Inst 9', and 'St_Moc34'. The piano roll area shows multiple tracks with waveforms and MIDI notes. The word 'トラック' is overlaid in the center of the piano roll area.

トラックの種類

DAWで使用するトラックは以下のような種類があります。

- MIDIトラック(インストゥルメントトラック)
- オーディオトラック
- AUXトラック
- マスタートラック
- クリックトラック

MIDIトラック(インストゥルメントトラック)

MIDIデータの打ち込み & 編集に使うトラックです。

DAWによっては

「MIDIトラック」と「インストゥルメントトラック」の2種類用意されている場合があります。違いは以下の通りです。

- MIDIトラック

ソフト・ハード問わずMIDI音源をコントロールするためのトラック

- インストゥルメントトラック

ソフトウェア音源に特化してコントロールするためのトラック

オーディオトラック

オーディオデータの録音 & 編集に使うトラックです。

主に、ヴォーカルや楽器などの
生演奏を録音・編集するために用います。

また、リズムループをはじめとした
オーディオ素材を用いてアレンジする場合にも使用します。

AUXトラック

MIDIデータやオーディオデータなど
特有のサウンドデータを持たない多目的トラックです。

- スtringス各パートを1つのトラックにまとめてイコライジングしたい
- バンドの各パートから同一のリバーブへ送りたい
- 複数パートの音量をまとめてコントロールしたい

など、基本的には「複数パートをまとめて処理する」と言った
使い方がメインになるトラックです。

「オグジュアリー (Auxiliary)」の名の通り、補助的なトラックです。

マスタートラック

楽曲全体の音質・音量・音像の調整に使うトラックです。

楽曲で使用している

すべての音をこのトラックでまとめて調節できます。

マスターエフェクトと呼ばれる

楽曲全体に適用するエフェクトをかけたり

楽曲全体のボリュームを調整するために使用します。

クリックトラック

クリック(メトロノーム)を再生するためのトラックで
それ以外の用途は特にありません。

楽曲の録音・演奏の際にクリックを再生したい場合には
このトラックを用意しておくことになります。

DAWによっては、わざわざクリックトラックを作成せずとも
デフォルトで組み込まれているものもあります。